

第4学年 社会科学習指導案

期 間 平成14年 9月 4日～9月25日

場 所 滝沢村立篠木小学校 4年 1組

授業者 仁昌寺 利明 (長期研修生)

児童数 男子14名 女子18名 計32名

1 単元「くらしを高めるねがい」

2 単元について

本単元は、学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標(2)「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする」、(3)「地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする」及び内容(5)「地域の人々生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする」に基づいて設定されたものである。「次ことを」というのは、「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」のことである。

ここでは、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例として、本校学区の「越前堰」を取り上げることにする。その調査活動をとおして、つくった要因や工事の工夫と努力についてとらえさせるようにする。また、越前堰をつくった綾織越前広信の業績や工事を行った地域の人々の苦労を考えることにより、地域に対する関心を一層高めさせ、誇りと愛情及び発展を願う気持ちをもたせるようにすることをねらいとする。

児童は、4年生となり、これまで「住みよいくらし(1)」の学習で、地域の消防署や警察署などの見学や身近にある消防施設や道路標識などの調査を行い、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこで働く人々の工夫や努力について考える学習を行ってきた。また、「住みよいくらし(2)」の学習では、村の人々の生活にとって必要な廃棄物の処理について、村の清掃センターの見学や学校及び家庭からでるゴミの調査を行った。そして、村の役場などで行っている対策や事業は、村の人々の健康な生活の維持と工場に役立っていることを考える学習を行ってきた。このような学習において、児童は、課題別や調査対象別のグループによる観察や見学、調査などの学習活動に意欲的に取り組んできた。しかし、調べたことを相互に交流した際に、調査結果の事実の発表にとどまりがちとなり、多様な調査結果から考えたことを交流し、社会的事象について様々な面から見たり考えたりして、その意味や働きなどについての考えが深まらない傾向にあった。

そこで、本単元の指導では、児童の社会的事象についての多様な疑問をもとに、複数の調査対象、課題、追究方法を設定することにする。そして、児童一人一人の選択による個別の学習計画に基づいた多様な追究活動ができるように、学習活動の複線化を図った実践を行うことにする。また、児童の多様な調査活動の結果について、調査対象どうし及び調査対象の異なるグループで相互に交流することによって、社会的事象について多面的に考える力を育てていくことにする。

3 単元の目標

(1) 単元のねらい

ア 地域の発展に尽くした先人の具体的事例として、「越前堰」の開発について調査し、工事を指揮した綾織越前広信と工事に携わった村人たちの思いや願い、苦労や工夫などについて、当時の人々の生活の様子や考え方、技術や道具などの面からとらえることができるようにする。

イ 越前広信や工事をした当時の村人たちの偉業は、現在も自分たちの住む地域の発展に引き継がれており、地域の人々の生活の向上と安定が保たれていることを理解し、地域に対する関心を深めさせ、誇りと愛情や発展を願う気持ちを育てる。

(2) 単元の評価規準

観 点	評 価 規 準
社会的事象への関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」をつくった要因や工事の様子、苦労や工夫などについての課題意識をもち、自らの学習計画に沿って、進んで調査、交流し、課題を追究しようとする。 ・地域の発展に尽くした人々の思いや願いに共感し、地域への誇りや愛情、発展を願う気持ちをもとうとする。
社会的思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」をつくった要因や工事の様子についての具体的な調査結果から共通点や相違点を見だし、つくった人々の苦労や工夫についての考えを深めることができる。 ・現在、米作りが盛んなこの地域と「越前堰」の存在及びつくった人々の苦労や努力の意味や働きを考察することができる。
観察・資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」に関して、資料などによる個別調査や現地の観察、「越前堰」に詳しい人への取材などによるグループ調査を行い、「越前堰」をつくった要因と工事の苦労や工夫についてまとめることができる。 ・調査結果を調査対象ごとや調査対象の異なるグループで発表し、相互の情報や考えを交流することができる。
社会的事象についての知識 ・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」が作られる前の地域や人々の生活の様子、願いがわかる。 ・「越前堰」工事の様子やつくった人々の思いや願い、苦労や工夫についてわかる。 ・「越前堰」完成後の地域の様子や開発がわかる。

4 単元の指導計画（11時間）

階	ね ら い	単	学習活動と内容	主な資料・教材等
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰がある場所や周辺の様子の VTR を観て、「越前堰をつくった要因」について追究するための全体の共通課題を設定し、予想を立てることができる 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・山際に沿って作られた「越前堰」の VTR を観て、「どうして越前堰をつくったか」という疑問から共通課題を設定する ・共通課題とその予想を具体的に学習シートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・越前堰用水路とその周囲の VTR ・学習シート
	<ul style="list-style-type: none"> ・共通課題の予想から、「越前堰」について調査する対象、課題、追究方法を選択し、「越前堰」を具体的にとらえるための個別の学習計画を立てることができる 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・共通課題を追究するための、調査対象、課題、追究方法について話し合い、選択して校内における個別の学習計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・個別の学習計画一覧表（事後）
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」を具体的にとらえるための個別の学習計画に基づいて調査活動を行い、必要な情報を収集し、学習課題について振り返ることができる 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の学習計画に基づき、校内における調査活動を行う ・資料やインターネット検索による資料等を収集し、調査結果を学習シートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、副読本 絵本、新聞、地図 コンピュータなど
	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象別のグループで、調査結果について交流し、調査対象について明らかになったことを整理することができる 		<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象別の少人数グループで、それぞれの調査結果について、各自の学習シートを見ながら交流する ・明らかになったことや未解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の学習計画一覧表 ・交流する際の資料 ・学習シート ・学習ノート

展	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象別のグループごとに調査結果を発表し、共通課題について追究し、明らかになったことを全体でまとめることができる 	1	<ul style="list-style-type: none"> の課題などを整理し、学習ノートに記入する グループごとの発表から共通課題について全体で追究し、学習シートにまとめる 越前堰の拡大水路図、関連年表を見て、全体でまとめたことについて確かめる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート 越前堰の拡大水路図と関連年表
	<ul style="list-style-type: none"> 未解決の課題及び新たな疑問などについて話し合い、「越前堰づくりに34年もかかった要因」について追究する共通課題を設定することができる 新しい共通課題について予想を立てることができる 	1	<ul style="list-style-type: none"> 未解決の課題や新たな疑問などについて話し合い、新しい共通課題を設定する 新しい共通課題とその予想を具体的に学習シートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの調査結果のまとめを整理した紙板書 学習シート
	<ul style="list-style-type: none"> 新しい共通課題の予想から、調査する対象、課題、追究方法を選択し、「越前堰」の意味や働きについて考えるための個別の学習計画を立てることができる 調査対象別グループごとに調査の準備をすることができる 	1	<ul style="list-style-type: none"> 「越前堰」を伝える「もの」「こと」「人」を調査対象として、課題と追究方法について話し合う 調査対象と課題、追究方法を選択し、個別の学習計画を立て、学習シートに記入する 調査対象ごとの少人数グループを作り、調査場所や観察・調査の内容と方法について確認し、調査の準備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 記念碑や石碑 田村神社 馬頭観音堂 使った道具 取材する人材 (越前堰のことに詳しい地域の人) (篠木の地域の歴史に詳しい人) 学習計画一覧表(事後)
	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象別のグループごとに見学、観察と聞き取り調査活動を行い、必要な情報を収集することができる 	2	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに調査する場所で現地の調査対象の観察と、聞き取り調査の活動をデジタルカメラ、ビデオ、録音カセット、学習ノートを使って記録する 	<ul style="list-style-type: none"> 調査場所 (田村神社) (清雲院) デジタルカメラ ビデオ 録音カセット 学習ノート
	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象別のグループごとに調査結果を交流し、相互の共通点と相違点についてまとめることができる 	1	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで、個別調査の結果を整理し、「工事の苦労や努力、工夫」などの相互の共通点と相違点について話し合い、学習ノートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習ノート
開	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象の異なるグループで、相互の共通点と相違点に基づく意味付けや価値付けして深め合い、「越前堰づくりに34年もかかった要因」について追究することができる 		<ul style="list-style-type: none"> 調査対象の異なるグループを作り、調査対象が違う観点から、相互の共通点と相違点について学習シートを見ながら交流する 「越前広信」と「工事をした村人」の観点から「越前堰づくりに34年もかかった要因」について追究し、学習シート 	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画一覧表 話し合うために必要な資料 学習シート 学習シート

終末	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象の異なるグループごとに追究した結果を全体で発表し、明らかになったことから、「越前堰をつくった要因」についてまとめることができる 	1	にまとめる	<ul style="list-style-type: none"> 各グループごとに発表に必要な資料 学習ノート
		1	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象の異なるグループごとに話し合ったことについて発表する 「越前堰」やつくった人々に対する思いや今後の願いについて、感想を入れて学習ノートにまとめる 	

(注)の囲みは、学習活動の複線化を図った学習活動を表す。

5 本時の指導

(枠は共通課題 枠は単位時間の学習課題)

 は、学習活動の複線化を図った実践についての目標及び指導展開案

(1) 「越前堰がある場所や周辺の様子の VTR を観て、共通課題を設定し予想する」(第1時)

ア 目標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> 「越前堰」のある場所や周辺の VTR を観て、感じたことや疑問に思ったことを進んで記述したり、発表したりしようとする。 越前堰がつくられた要因について予想しようとする。
社会的思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 「越前堰」のある場所や周辺の VTR を観て、「越前堰」がつくられた要因について予想することができる。

イ 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資料・教材等
導 入 5分	1 みんなで学校の校歌の二番を口ずさみ、「越前堰」について学習することをつかむ。 2 本時の学習課題を設定する。 「越前ぜき」についてのみんなのかだいを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 校歌の歌詞の意味を考え、身近な地域にある「越前堰」について関心をもたせるようにする。 学習課題は、学習ノートに書くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 校歌の歌詞 学習ノート
展 開 25分	3 学校の近くにある山際に越前堰の水が流れている様子やその周囲の様子の VTR を観る。 4 疑問に思ったことを学習ノートに書く。 5 疑問に思ったことについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> VTR 視聴のため、音楽室に移動する。 VTR は、児童にとって、身近で起きた昔の事実や出来事であることがわかり、「越前堰」を調査する意欲付けとなるものを準備する。 VTR を観て、感じたことや疑問に思ったことを学習ノートに書くように指示する。 児童が感じたことや疑問に思ったことを整理し、黒板にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビデオカメラ 学習ノート
終 末 15分	6 「越前堰」についての共通課題を設定する。 どうして、「越前ぜき」をつくったのだろうか。 7 共通課題についての予想を書く。 8 次時の学習活動を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 共通課題は児童とともに設定し、学習シートに書くようにする。 学習シートに共通課題についての予想を理由を付けて書くように助言する。 次時は、共通課題を追究するために必要な課題や調査について話し合い、個別の学習計画を立てることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート 学習シート

(2) 「学習活動の複線化による個別の学習計画を立てる」(第2時)

ア 目 標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	・「越前堰」がつけられた要因について追究するために必要となる調査対象や課題、追究方法を進んで発表し、複数のものから自分が調査したいものを、それぞれ進んで選択しようとする。
社会的思考・判断	・「越前堰」がつけられた要因について追究するために必要となる調査対象や課題、追究方法について考えることができる。 ・自分の学習課題について具体的に予想することができる。

イ 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資料・教材等
導 入 8分	1 前時の学習を想起し、共通課題について確認をする。 2 本時の学習課題を設定する。 自分の学習計画を立てよう。 3 単元の学習活動の見通しを立てる。	・学習シートを確認するように助言する。 ・共通課題を追究するためには、「越前堰」について調べる必要があることに気付かせるようにする。 ・追究するために必要な調査対象、課題、追究方法を決めて、個別の学習計画を立てることを確認する。 ・学習課題は、学習ノートに書くようにする。 ・「越前堰」に関する共通課題の追究を二回に分けて行うことや、個別の調査活動は校内で行い、グループによる調査活動は、校外で行うことなど、単元の学習活動の見通しを児童とともに立てるようにする。	・学習シート ・学習ノート
展 開 22分	4 共通課題についての予想から、共通課題を追究するために必要な調査対象と調査対象に関する課題、課題を追究するための方法について話し合う。 (1) 調査対象と課題について話し合う。 (2) 追究方法について話し合う。 5 共通課題を追究するための調査対象、課題、追究方法を整理する。	・共通課題を追究するための調査内容について話し合うことを確認する。 ・前時に VTR を観て感じたことや疑問に思ったことについて、学習ノートを見ながら話し合うようにする。 ・児童の発表をもとに調査対象と課題を整理しながら板書する。 ・調査対象は、「時期」「人」「場所」「工事の様子」の4つの対象にするようにする。 ・追究方法については、調査対象や課題により追究できるか、全体で確認しながら話し合うようにする。 ・複数の調査対象と課題、追究方法が、共通課題が追究できる内容になっているか再確認する。	・VTR を観た児童の感想や疑問をまとめた紙板書 ・学習ノート
終 末 15分	6 複数の調査対象と課題、追究方法について、各自が調査したいものを選択する。 7 個別の課題について具体的に予想する。 8 次時の学習活動を知る。	・選択したものは、学習シートにまとめるように指示する。 ・課題についての予想とその理由を学習シートに書くように指示する。 ・次時は、校内にある資料などを使って、個別による調査活動を行うことを確認する。	・学習シート ・学習シート

※ 事後に、各自の学習シートを回収し、児童一人一人の学習計画を紙板書にまとめる。そして、共通課題の検証など、今後の学習活動の際に活用することにする。また、この紙板書の一覧表は、教室に掲示しておくようにする。

(3) 「個別による調査活動を行う」(第3時)

ア 目標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	・個別の学習計画に基づいて、進んで資料や情報を収集しようとする。 ・個別の調査対象と課題、追究方法に沿って、個別調査をしたり、結果を振り返ったりしようとする。
観察・資料活用の技能・表現	・収集した資料や情報から、自分の課題を解決するための手がかりを見付けて、学習ノートや学習シートにまとめることができる。

イ 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資 料 ・ 教 材 等
導 入 5分	1 本時の学習活動を確認する。 自分の学習計画にしたがって、調べ学習をしよう。	・学習計画一覧表を見ながら、個別による調査活動を確認する。 ・各自の調査活動について、学習シートを見ながら確認するようにする。	・個別の学習計画一覧の紙板書
	2 各自の調査活動を確認する。	・調査結果は、学習ノートのメモをもとに、学習シートにまとめるように助言する。	・学習シート
展 開 30分	3 個別の調査活動を行う。	・事前に、図書室、コンピュータールームの開放及び準備をしておくようにする。 ・教室、図書室、コンピュータールームには、教師がつくようにする。 ・調査場所へは、追究方法ごとにまとまって、移動するようにする。 ・追究方法で困ったり、迷ったりした場合は、教師に相談するように、事前に伝えておくようにする。 ・資料の中の難しい語句の意味や表現については、国語辞典等で調べるように指示したり、教師が説明したりする。 ・調査が早く終了した児童については、その場所で、調査結果を整理するように指示する。また、時間がきたら、一斉に教室に戻るようにする。	活動場所 ・図書室 ・コンピュータールーム ・教室 資料 ・副読本 「たきざわ」 「新しいきょうど岩手」 ・絵本 ・地図 ・「越前堰四百二十年」 ・新聞 など
	4 調査結果をまとめる。 5 調査結果について振り返る。 6 次時の学習活動を知る。	・学習ノートに書いたものを整理し、学習シートに自分の言葉でまとめるように指示する。 ・課題に対する予想と調査結果をくらべさせるようにする。 ・次時は、個人の調査結果を調査対象別グループどうしで交流し、共通課題について考えることを知らせる。	・学習ノート ・学習シート ・収集した資料
終 末 10分			

(4) 「調査対象別のグループを作り、共通課題について追究する」(第4時)

ア 目標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	・調査結果から考えたことを、グループや全体で進んで発表しようとする。 ・グループや全体で交流したことをもとに、「越前堰」をつくった要因について明らかとなったことを、学習シートに進んでまとめようとする。
社会的思考・判断	・多様な調査結果から、「越前堰」がつくられた要因について考えることができる。
観察・資料活用の技能・表現	・調査結果をについて、相手によく伝わるように説明することができる。
社会的事象についての知識 ・理解	・グループや全体での発表の際に、他者の資料を見たり、発表を聞いたりして、その内容を理解することができる。 ・「越前堰」は、いつ、だれが、どこで、どんな要因で、どのようにつくられたのかなどについて理解することができる。

イ 展 開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資 料 ・ 教 材 等
導 入 10分	<p>1 前時の学習活動を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>どうして「越前ぜき」をつくったのかまとめよう。</p> </div> <p>2 調査対象別のグループを作り、話し合うときの視点について、全体で確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習シートを準備し、調査対象別のグループで交流した後に、全体で共通課題について追究し、まとめることを確認し、学習課題をノートに書かせる。 調査対象が同じで、1グループ4～5人程度の少人数のグループを個別の学習計画一覧の紙板書に基づいて作っていくようにする。 それぞれの調査結果から、「越前堰」は、いつ、だれが、なぜ、どのようにつくったのかなどについて明らかにすることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート 学習ノート 個別の学習計画一覧の紙板書
展 開 25分	<p>3 調査対象別グループごとに、調査結果について交流し、明らかになったことを整理する。</p> <p>4 グループごとの発表から、共通課題について全体で追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習シートを発表原稿として活用し、発表するように指示する。 各自の発表が終わり次第、それぞれの調査対象の観点から学習ノートにまとめるように助言する。 調査対象別の代表が発表し、調査対象について明らかとなったことを、教師が整理しながら板書するようにする。 当時の村の生活の様子からつくった要因を考えることを、必要に応じて助言する。 「越前広信」という人物や「使った道具」「つくられた場所（距離）」「つくった期間」などについての的確にとらえることができるように、板書を工夫する。 他のグループの発表を、メモしながら聞くように助言する。 越前堰の拡大水路図と年表を使って、教師が補足説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流する際の資料 学習シート 学習ノート 学習ノート 越前堰の拡大水路図と年表
終 末 10分	<p>5 共通課題について明らかとなったことをまとめる。</p> <p>6 次時の学習活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に整理した内容をもとに、各自で学習シートにまとめるようにする。 今から430年前、この地域は荒地が多く、貧しい生活をしていた。そこで、越前広信は、米や野菜を作るために、村人たちとともに、もっこ森から流れる水を引いて、34年かけて「越前堰」（用水路）をつくった。などのようにまとめる。 次時は、未解決の課題や新たな疑問などについて話し合い、新しい共通課題を設定することを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート

※ 事後に、本時の学習で明らかとなった事実や出来事を紙板書（「越前堰のまとめパート1」）に表し、個別の学習計画一覧表の隣に掲示する。

(5) 「未解決の課題や新しい疑問から新しい共通課題を設定する」(第5時)

ア 目 標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」調査をもとに、さらに追究したいことや未解決の課題、新たな疑問などから、新しい共通課題をつくらうとする。 ・「越前堰」をつくるのに34年もかかった理由について予想しようとする。
社会的思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに追究したいことや未解決の課題、新たな疑問を見だし、新しい共通課題を考えることができる。 ・「越前堰」をつくるのに34年もかかった理由について予想することができる。

イ 展 開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資 料 ・ 教 材 等
導 入 5分	<p>1 前時の学習活動を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <p>「越前ぜき」について調べて、ぎもん思ったことやさらに調べたいことから、新しいみんなのかだいを立てよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の学習ノートと学習シートを見て、確認するようにする。 ・調査結果から、新しい追究課題がくれことを賞賛し、本時の学習の意欲付けを図るようにする。 ・本時の学習課題を学習ノートに書くように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・学習ノート ・個別の学習計画一覧表 ・学習ノート
展 開 30分	<p>2 調べてぎもん思ったことやさらに調べたいことを、各自で確かめる。</p> <p>3 ぎもん思ったことやさらに調べたいことなどについて全体で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰のまとめパート1」の紙板書を見ながら、一人一人に未解決の課題や新たな疑問、さらに調べたいことを、学習シートに書くように指示する。 ・話し合いの中から、新たな疑問が出てきた場合も取り上げるようにする。 ・さらに調べたい課題と未解決の課題、新たな疑問を整理しながら板書するようにする。 ・「越前堰」工事に34年かかっていることに着目させ、新しい共通課題について考えるように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・「越前堰のまとめパート1」
終 末 10分	<p>4 課題や疑問を整理し、新しい共通課題を設定する。</p> <p>どうして「越前ぜき」をつくるのに34年もかかったのだろう。</p> <p>5 新しい共通課題についての予想を立てる。</p> <p>6 次の学習活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とともに整理し、新しい共通課題を設定し、学習シートに書くように指示する。 ・学習シートに理由を入れて予想を書くように指示する。 ・次時は、みんなの予想をもとに、個別の学習計画を立て、グループをつくり、調査の準備をすることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・学習シート

(6) 「学習活動の複線化による個別の学習計画を立て、グループ調査をする準備をする」(第6時)

ア 目 標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」をつくるために34年もかかった要因を追究するために、「越前堰」を伝えるものから、調査対象、課題、追究方法について進んで話し合おうとする。 ・複数の調査対象、課題、追究方法から、それぞれ自分が調査したいものを進んで選択しようとする。 ・調査対象別グループで、校外での調査活動の準備を進んでしようとする。
社会的思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前堰」をつくるのに34年もかかった要因を追究するために、「越前堰」を伝えるものについての調査対象、課題、追究方法を考えることができる。 ・自分の学習課題について具体的に予想することができる。

イ 展 開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資 料 ・ 教 材 等
導 入 5分	<p>1 前時の学習活動を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <p>自分の学習計画を立てて、グループで調べる準備をしよう。</p> <p>2 調査の視点を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新しい共通課題を追究するための学習計画を立てて、次時の調査活動の準備を確認することを確認する。 新しい共通課題を追究するために、校外でグループによる調査活動を行うことを再確認する。 教室内に掲示してある個別の学習計画一覧表及び「越前堰のまとめパート1」を見ながら、校外での調査活動についておおよその見通しをもつように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート 個別の学習計画一覧表 「越前堰のまとめパート1」の紙板書
展 開 25分	<p>3 新しい共通課題の予想から、追究するのに必要な調査対象や課題、追究方法について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 予想される調査対象 <ul style="list-style-type: none"> ○清雲院の石碑、越前堰周辺にある石碑（石碑） ○田村神社、馬頭観音（建物） ○工事で使った道具（道具） ○越前堰に詳しい人、篠木の歴史に詳しい人（人材）など <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習シートに書いた新しい共通課題に対する自分の予想をもとに、調査対象と課題について話し合うようにする。 調査対象については、3学年で地区探検したことを振り返りながら考えるように助言する。 必要に応じて、さらに調べたいことや新しい疑問の紙板書を提示し、課題について考えるようにする。 追究方法は、現地調査と地域の人材への聞き取り調査が中心になることを確認する。その際に、具体的にどのような方法で見たり、聞いたりするかについて話し合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート さらに調べたいことや新しい疑問などについての紙板書
終 末 15分	<p>4 複数の調査対象、課題、追究方法から、各自が調査したいものを選択する。</p> <p>5 個別の課題について具体的に予想する。</p> <p>6 調査対象別グループを作り、調査活動の準備をする。</p> <p>7 次時の学習活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 選択したものを、学習シートに書くように指示する。 各自、課題についての予想とその理由を学習シートに書くように助言する。 調査対象別に分かれ、1グループ4～5人の少人数グループを作る。 各グループで、一人一人の課題と追究方法を確認し合い、質問内容や持ち物などの調査に向けての準備を行うように指示する。 取材するゲストティーチャーとは、質問内容などの事前の打ち合わせをしておく。 次時は、個別の学習計画について調査対象別のグループで校外で調査活動を確認することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート 学習シート デジタルカメラ 録音カセット ビデオ など

※ 事後に、調査対象別グループごとの学習計画一覧の紙板書を作成し、次時からの学習活動に役立てる。

(7) 「調査対象ごとのグループによる調査活動を行う」(第7・8時)

ア 目 標

観 点	目 標
社会的現象への関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> 各自の学習計画に基づいて、グループでの現地観察や聞き取り調査などに進んで取り組もうとする。
観察・資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な現地観察や「越前堰」に関する情報を知る人への聞き取り調査などから、課題について追究するための手がかりとなる情報を収集することができる。

イ 展 開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資 料 ・ 教 材 等
導 入 10分	<p>1 本時の学習活動を確認する。 自分の学習計画にしたがって、グループで調べ学習をしよう。</p> <p>2 調査対象別のグループごとに、各自の調査活動を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自の学習計画に基づいて、調査対象別グループによる調査活動を確認する。 何について、どんな課題をどのように調べるか確認し、情報収集するための用具の準備をグループごとに行うように指示する。 調査する場所ごとの引率する教師の紹介をする。(引率者3~4名) 調査目的、調査の仕方、安全面について、一斉指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象別グループごとの学習一覧 学習ノート ビデオカメラ デジタルカメラ 録音カセット 筆記用具
展 開 60分	<p>3 グループによる調査活動を行う。</p> <p>調査場所 A 清雲院(石碑、馬頭観音) B 田村神社(越前堰・道具)</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに調査場所に移動するようにする。 再度、安全面について指導する。 各調査場所にゲストティーチャーを迎え、挨拶をしてから調査するようにする。 場所を移動して観察、調査するグループは、引率の教師とともに移動するようにする。 各自、課題の追究の手がかりとなる情報の収集が終わり次第、グループごとに集合場所に集まるように各グループの代表に指示をする。 ゲストティーチャーから「越前広信」のことや石碑に書かれている意味、今日の越前堰などについて取材する。 「越前堰」と地域の生活とのかかわりについて、昔からこの地に住むゲストティーチャーに取材する。 調査場所以外にある「越前堰」を伝えるものについては、調査前日までの放課後を利用して、児童とともに現地へ行き、取材するようにする。 調査活動が終わり次第、ゲストティーチャーに挨拶をして、グループごとに学校にもどるようにする。(前後に引率者がつく。) 教室にもどり次第、各自の調査結果を学習ノートに整理するように助言する。 	<p>地域の人材 ○主濱さん ○佐藤さん</p> <p>山沿いのまがりくねられた場所につくられた「越前堰」の様子や、記念碑の内容及びその場所の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習ノート
終 末 20分	<p>4 各自の調査結果を整理する。</p> <p>5 次時の学習活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自の調査結果について、学習シートにまとめるように指示する。 デジタルカメラの画像をコンピュータに取り込み印刷する際に援助する。 VTR や録音テープを再生し、調査結果について確認させるようにする。 次時は、調査対象別グループごとに、調査結果について交流することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート コンピューターム

(8) 「調査対象別のグループによる調査結果の交流を行う」(第9時)

ア 目 標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	・調査対象別グループごとに、個々の調査結果の発表からそれぞれの共通点や相違点について、進んで見いだそうとする。
社会的思考・判断	・調査対象についての共通点や相違点から、「越前堰」をつくった人々の苦労や努力、工夫、思いや願いなどについて考えることができる。
観察・資料活用の技能・表現	・調査結果について、相手に伝わるように説明することができる。
社会的事象についての知識 ・理解	・調査対象ごとに、「越前堰」をつくった人々の苦労や努力、工夫、思いや願いについて理解することができる。

イ 展 開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資 料 ・ 教 材 等
導 入 10分	1 前時の学習活動を想起し、本時の学習課題を確認する。 グループで調査したことの同じところとちがうところを話し合おう。 2 話し合うときの視点を全体で確認する。	・調査対象別グループごとに調査結果について交流することを確認する。 ・本時の学習課題を学習ノートに書くように指示する。 ・調査結果から、それぞれの調査対象ごとの共通点と相違点について話し合うことを、全体で確認する。	・学習ノート
展 開 25分	3 調査結果について振り返る。 (1) 自分の予想と比較する。 (2) 調査対象別グループで、調査結果について交流する。 4 それぞれの調査対象ごとに調査結果の共通点と相違点について話し合う。 ○石碑グループ 清雲院の石碑、越前堰周辺にある石碑 ○神社グループ 田村神社、馬頭観音堂 ○道具グループ 工事で使った道具 ○人グループ 越前堰に詳しい人 篠木の歴史に詳しい人	・各自、学習シートを見て、自分の調査結果と予想とをくらべるように指示する。 ・発表に必要な資料などを提示し、発表原稿となる学習シートを見ながら説明するように指示する。 ・自他の調査結果の共通点と相違点について学習ノートにメモをしながら聞くように助言する。 ・困っているグループに対しては、必要に応じて助言をするようにする。 (調査対象から予想される共通点) ・越前広信と工事をした人々の功績 ・越前広信を祭っている建物 ・大変な工事、苦労と努力 ・越前広信と工事をした人々の工夫と努力 ・「越前堰」との地域の人々の生活とのかかわりや「越前堰」の役割	・学習シート ・発表に必要な資料など
終 末 10分	5 グループで話し合った共通点と相違点をもとに、それぞれの調査対象についてまとめる。 6 次時の学習活動を知る。	・各グループで話し合ったことを、学習シートにまとめるようにする。 ・学習シートの記入例(共通点) 越前広信と工事をした人々の苦労、努力によって、この地域の米づくりがさかんとなった。今も「越前堰」のおかげで、米づくりが盛んな地域となっている。 ・次時は、調査対象の異なるグループで交流し、新しい共通課題について考えることを知らせる。	・学習シート

(9) 「調査対象の異なるグループを作り、新しい共通課題について追究する」(第10時)

ア 目 標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	・調査対象の異なるグループの相互交流から、「越前広信」と「工事をした村人たち」の苦労と努力、工夫、思いや願いについて進んで追究しようとする。
社会的思考・判断	・「越前広信」と「工事をした村人たち」の苦労と努力、工夫から、34年もかけてつくった「越前堰」に対する思いや願いについて考えることができる。
観察・資料活用の技能・表現	・調査対象別グループで話し合ったことに基づいて、調査対象の異なるグループで、相手に伝わるように発表することができる。
社会的事象についての知識 ・理解	・調査対象別グループでの「越前堰」をつくるときの苦労と努力、工夫から、34年もかけてつくった「越前広信」「工事をした村人たち」の思いや願いを理解することができる。

イ 展 開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資料・教材等
導 入 10分	1 前時の学習活動を想起し、本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> どうして「越前せき」をつくるのに34年もかかったのかまとめよう。 </div> 2 話し合うときの視点を全体で確認する。 3 調査対象の異なるグループをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象の異なるグループをつくり、新しい共通課題について追究することを確認する。 ・本時の学習課題を学習ノートに書くように指示する。 ・前時に調査対象別グループで話し合った共通点と相違点を交流し、「越前堰」づくりに34年もかかった理由について話し合うことを全体で確認する。 ・調査対象別グループごとの学習計画一覧をもとに1グループ5人程度のグループを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノート ・調査対象別グループごとの学習計画一覧
展 開 25分	4 調査対象別グループごとに話し合ったことを交流し、「越前堰」をつくるのに34年もかかった理由についてグループごとに話し合う。 5 「越前広信」と「工事をした村人たち」の願いや思いについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの調査対象別グループでの話し合いにより、共通点と相違点を書いた学習シートを見ながら発表するようにする。 ・交流したり、話し合ったりした結果を学習ノートにまとめるように指示する。 ・現在の工事とのくらべさせることにより、工事の苦労や努力についての理解をより確かなものにするようにする。 ・大変な苦労にもかかわらず、どうして34年もつくり続けたのか、観点を改めて、「越前広信」と「工事をした人々」の思いや願いについて考えさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・学習ノート ・ブルドーザー、トラック、パワーシャベルなどの拡大図
終 末 10分	6 調査対象の異なるグループで話し合ったことをもとに、新しい共通課題についてまとめる。 7 次時の学習活動を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の学習シートにまとめを書くように指示する。 ・予想される記述例 「越前広信」や「工事をした人々」が、苦労したり、工夫したりしたのは、この地域に水を引いて、米や野菜をつくり、豊かな生活にしたいという思いや願いがあったから、34年も工事をした。 ・次時は、全体での発表会を開き、これからの「越前堰」について話し合うことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート

(10) 「全体の発表会を行い、共通課題についてまとめる」(第11時)

ア 目 標

観 点	目 標
社会的事象への関心・意欲 ・態度	・これまでの「越前堰」の学習をもとにして、どうして「越前堰」がつけられたかについて進んで話し合い、これからの「越前堰」と自分の生活とのかかわりについて考えようとする。
社会的思考・判断	・「越前広信」と「工事をした村人たち」の苦労や努力、工夫などから、「越前堰」と自分の生活とのかかわりについて考えることができる。 ・今も地域の米づくりをささえている「越前堰」を守り続ける気持ちや「越前堰」のあるこの地域に愛着をもつことができる。
観察・資料活用の技能・表現	・調査対象の異なるグループでの交流の結果を相手に伝わるように発表することができる。
社会的事象についての知識 ・理解	・自分たちの住むこの地域は、「越前堰」や地域の発展を願う当時の人々の苦労と努力、工夫によって、今も発展し続けていることを理解することができる。

イ 展 開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援	資料・教材等
導入 5分	1 前時まで学習活動を想起し、本時の学習課題を確認する。 どうして「越前ぜき」をつくったのだろう。	・調査対象の異なるグループでそれぞれ交流した結果を発表し合い、これからの「越前堰」について話し合うことを確認する。 ・本時の学習課題を学習ノートに書くように指示する。	・学習ノート
展開 30分	2 各グループごとに発表する。(発表会) 3 これからの「越前ぜき」について話し合う。	・事前に全体で話し合えるような机の配置にしておくように指示する。 ・グループの全員が発表できるように、各グループで工夫するように助言する。 ・各グループの発表から「越前堰」と自分の生活とのかかわりや、これからの「越前堰」について、全体で話し合うようにする。 ・「越前広信」や「工事をした村人たち」の苦労や努力、工夫があったから、この地域や農業が発展したことを確認する。	・発表に必要な資料 ・学習シート
終末 10分	4 話し合いで明らかとなったことをまとめる。	・各自の学習ノートに、自分の感想も入れて書かせる。 ・予想される記述例 この篠木にうつり住んだ「越前広信」は、この地域の米づくりをさかんにしようと、「地域の村人たち」といっしょに苦労や努力、工夫をして「越前堰」をつくった。そのおかげで、この地域は、米づくりがさかんになった。そして、地域が発展し、人もたくさん住むようになった。「越前堰」をつくった人々に感謝し、これからも、篠木のシンボルとして、大切にしていきたい。	・学習ノート

